

## 東御市でアメリカザリガニの調査を実施しています

近年、東御市北御牧八重原地域においてアメリカザリガニの巣穴が原因となる水田の漏水や畦畔崩壊が問題になっています。この地域では、水は貴重とされていることもあり漏水の被害は甚大です。そこで、東御市の農業技術者連絡協議会の事業に採択され、令和3年度よりアメリカザリガニの捕獲に対する効果的な方法の検討や実態調査を行っています。

令和3年度の調査研究により、ペットボトル製の捕獲用わなが効果的に捕獲できることが分かったため、本年はこれを7日間設置することで、より効果的にザリガニを捕獲できるか調査を行っています。本年の被害状況については、昨年より巣穴の増加、幼苗の茎葉切断の被害が確認されています。



ペットボトル製の捕獲用わな  
(餌は煮干しを使用)



幼苗を切るアメリカザリガニの様子